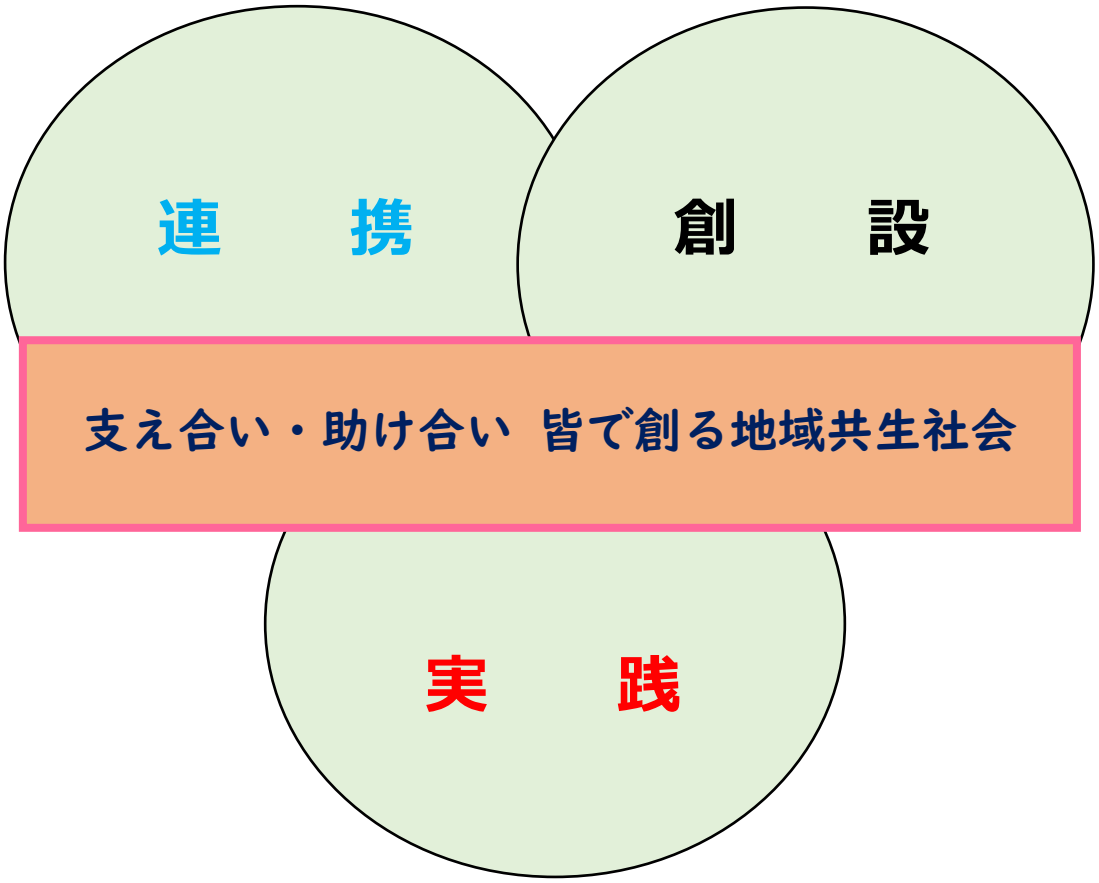
令和８年度　事業方針

【　姉崎地区社会福祉協議会が目指す地域共生社会　】



“地域共生社会の実現を目指すために”

〖連　携〗……地域関係者の相互理解のもと連携・協働を図ります。

〖創　設〗……既成感念にとらわれない“新たな取組み”を展開します。

〖実　践〗……ロードマップを作成し、実行します。

“地域共生社会実現への基本的な取り組み・・・”

・第３次姉崎地区行動計画、第７次市原市地域福祉活動計画が連動・連携した取り組みを進めます。

・第２層協議体と一体となり、地区の抱える問題を掘り起し早期に対策に取り組みます。

・地域・地区内の各種団体と連携、協働のもと住民と地区社協が一体となって地域福祉を推進します。

・姉崎地区社協の将来図を見据えて、新しい人材の育成・確保を事業活動の OJT で進めます。

・自然災害に対する防災・減災活動へ近隣地区社協と連携・協働して取り組みます。

令和８年度　事業計画

【基本理念】

「地域の皆さんが支え合うことで“安心・安全”を実現する“地域共生社会を目指す」

令和８年度姉崎地区社協事業活動は、第３次姉崎地区行動計画のスタート年度となります、第２次姉崎地区行動計画を継承し、第７次市原市活動計画に連携・連動させ活動を進めます。

第 3 次姉崎地区行動計画は、第 2 次計画を一部見直し、基本目標、活動内容を記述しています。地域の皆さんのご支援、ご協力をいただき、地域住民が一体となり、子どもから高齢者まで「孤立・孤独」のない地域共生社会の実現を目指す事業計画としています。

①基本目標１「地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり【共　感】」

地域の誰もが自身で暮らす地域で起きている社会的な孤立などの問題に関心を持ち、身近な福祉活動や交流の場を通じたつながりを深め、お互いさまの気持ちが育まれる機会の創出に努めます。また、地域の住民の住民参加・住民主体によって取り組む、地域をより良くするための活動を促進し、みんなで支え合う地域づくりを目指します。

②基本目標２「地域の繋がりを豊かにするための仕組みづくり【共　創】」

地域の誰もが、早期に抱える困りごとを身近で相談でき、その人その人に合った適切な支援が受けられ、課題を解決する取り組みの強化や仕組みづくりに努めます。また、地域共生社会の実現に向けた地域づくりに期待される、地域の多様な主体とのさらなる連携づくりを深め、支え合いの輪が広がる地域づくりを目指します。

③基本目標３「地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり【共　生】」

地域の誰もが、自身が暮らす地域をつくる一員であることを理解し、それぞれの役割が発揮できるよう、地域づくりへ積極的に参画を促進するための基盤の整備を図ります。また、一人ひとりの権利や生活が守られ、住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることのできる地域づくりを目指します。

基本目標１：地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり【共感】

1. 地域・福祉を知る機会の充実

（1）広報啓発事業

①広報誌そよ風を7月、12月に年2回発行、スタッフの負荷が低減出来るシステムを検討します。

②新たに SNS の媒体を活用し、若い年齢層に対して活動を発信出来る仕組みを検討します。

（2）アネッサ福祉祭りバザー（アネッサ共催／令和8年11月23日、アネッサ会場）

＊フェスタ方式で実施予定　１部：寄附品の販売、 ２部：調理品販売＆サークル発表会

（3）いちはらフードネットワーク事業の推進

＊姉崎地区社協フードバンク、パントリーの開催を検討します。

（4）制服リユース活動の推進 （他事業での譲渡会及び10月の譲渡会を開催予定）

①開始3年目、活動の定着、周知拡大、対象品目の枠を広げ一層の充実を図ります。

②高齢者の活動の場を広げ、また各家庭の心配・困り事の解決に向けた活動も併せて行います。

2. 人とひと、人と地域のつながりを育む場の推進

（1）共生型サロン事業（ニコニコサロン/アネッサ共催/原則毎月第4水曜日 10:15～11:30）

①参加者の健康増進をはかり、併せて心身の増進、リフレッシュを図る出し物を計画します。

②参加者の心配事、悩み事が相談できる相談コーナーの開設を継続します。

（2）子育てサロン事業（姉崎公民館共催/原則毎月第3金曜日 10:30～11:30）

①子育て中の母親の悩み事が共有できる楽しい、息抜きの出来る場を提供します。

②子育て中の母親の育児の悩み事、生活面での心配事を相談できる相談コーナーの開設を継続します。

（3）地域歳末福祉支援事業（あそびばアネッサ開催/12月第3週土曜日、10：00～13：00）

＊実施日に他団体との行事が重複するため、今年度から開催日を一週間早め、12月の第3土曜日に変更して開催します。

（4）子どもの居場所づくり事業（げんき食堂開催/原則毎月第4土曜日 10:00～13:00）

①誰でもが参加できる場を活用し、こどもの悩みを聞ける場を提供します。

②参加者が増加傾向にあり、体育館使用時には20人制限を30人へと拡大します。

③姉崎地区での「子どもの居場所づくり」の協力・支援を行っていきます。

3. 小地域福祉活動の推進

（1）小域福祉ネットワーク連携事業

①姉崎・明神・青葉台 3 小域福祉ネットワークとの定期的な連絡会を開催します。

②事業の活性化に向けた活動・財政支援等を実施します。

③移動販売やふれあい買い物ツアーの拡充を図ります。

基本目標２：地域の繋がりを豊かにするための仕組みつくり【共創】

1. 寄り添い支えていく体制の強化

（1）相談支援事業　～姉崎地区相談支援体制イメージ図に沿った相談支援活動～

＊昨年、「おしゃべりカフェ、相談箱の設置」を発展的解消とし、社協主催事業（ニコニコサロンや元気食堂、子育てサロン）に「相談コーナー」を設置し、「もれなく、小さな悩み事」を拾い上げる相談体制・システムの構築を検討します。

2. 生活を支えるための体制強化

（1）高齢者地域支え合い事業（第2層協議体の推進）

＊高齢者の生活を地域全体で支えていくための生活支援サービスの創出やマッチングを行います。

（2）日常生活支援事業（姉崎チョコっとサービス）

＊小域福祉 NW 単位での活動体制構築を図ります。

（3）買い物支援策の推進（ふれあい買い物ツアー/移動販売）

＊日常的な買い物の交通手段に難を抱えている方への生活支援として、法人車両を活用した「ふれあい買い物ツアー」や、企業と協力した徒歩圏内への移動販売の誘致を実施します。

3. 地域の実情に応じた地域福祉活動の推進

（1）姉崎地区行動計画の推進

＊地域共生社会づくりを着実に推進するため、多様な主体との連携強化を図り、行動計画の具現化に努めます。

4. 多様な主体との連携

（1）近隣地区社協との連携

＊有秋・千種地区社協と定期的な連絡会、研修会などを開催します。

（2）社会福祉法人との連携

＊社会福祉法人が持つ専門性と地域福祉活動を結び付け、地域生活課題の解決に向けた協働活動の検討や取り組みの具現化を図ります。

（3）企業との連携

＊アネッサ福祉祭りバザーにおける寄付を通じて、企業との連携を図ります。

基本目標３：地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり」【共生】

1. 地域で活動する人材の育成

（1）生活支援活動の担い手養成研修及び人材育成の推進

＊地区社協主催事業の新たな活動者となる住民向けの講座や研修会への参加促進、また、人材確保に向けた募集チラシの配布、声掛けを行います。

2. 災害対応力の向上

（1）災害支援ボランティアの募集・育成

＊活動者の確保に向けた勉強会等の開催や、市社協主催の講座や訓練に積極的に参加し、意識啓発やスキルの習得に努めます。

（2）福祉避難所運営訓練への積極的な協力

＊姉崎地区社協として、福祉避難所開設時の応援体制、組織の構築に向けた検討を行います。